

JFA キッズサッカースフェスティバル

いわて in きたかみ with 翔南 写真館

日 時： 2019 年 9 月 1 日 (日) 9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
会 場： 北上総合運動公園 補助競技場
主 催： (公社) 岩手県サッカー協会
主 管： 北上市サッカー協会、岩手県立北上翔南高等学校サッカー部
後 援： 公益財団法人日本サッカー協会 (JFA) / 北上市教育委員会 / (一財) 北上市体育協会
内 容： グラスルーツフェスティバル形式
ワークショップ (技術練習) とミニゲームを交互に配置
* フェスティバル運営、競技の進行、チーム帯同は、北上翔南高校サッカー部の生徒が行いました。

参加者： 52 名 U-8 : 52 名【男 41 名、女 11 名】

運営スタッフ 76 名： 岩手県立北上翔南高校サッカー部 (選手・マネージャー 68 名、監督・顧問の先生)

北上市サッカー協会スタッフ、岩手県サッカー協会キッズ委員会スタッフ

<会場準備、受付の様子>



<開会式 会場全体の様子>



北上市サッカー協会 高橋辰一会長よりごあいさつ

<ワークショップ・ゲーム様子>





＜参加者と高校生スタッフの閉会式後花道をつくってハイタッチの様子＞



<集合写真>



●参加者・保護者から寄せられた主なアンケートコメント

- ・兄の時からキッズフェスティバル翔南へ参加しており、楽しみながら参加でき北上翔南高校の生徒さんたちの対応も丁寧で雰囲気作りも明るい印象です。来年も楽しみにしています。(小学1年生タキザワキョウスケ君の保護者)
- ・子どもたちとても楽しそうでした。一人一人に高校生が声をかけてくれてありがたかったです。(花巻SSの保護者)
- ・北上翔南高校生のお兄さんに教えてもらいながら、楽しくサッカーができたようです。(小学1年生高橋大都くん保護者)
- ・高校生と一緒に本格的な練習ができたので良かったです。(保護者)
- ・高校生のお兄さんたちと楽しそうにサッカーをしていました。暑すぎて早く終わってしまったのが残念でした。(小学1年生佐々木エウ君の保護者)
- ・北上翔南高校の生徒さんがすごく優しくゲームをしてくれました。大きいお兄ちゃんとサッカーを楽しむことができて良かったです。(保護者)
- ・高校生の皆さんが楽しく、子どもたちを盛り上げてくれたので最後まで楽しく参加することができました。(江釣子FCの保護者)

●運営スタッフ（北上翔南高校サッカー部）のコメント

3年選手 高橋眞虎（たかはしまとら）（主将）

私は、今年で3回目の参加だったので、昨年よりも子どもたちに楽しんでもらえるようにすることを目標に取り組みました。私はナンバーコールゲームの担当だったのですが、どうしてもうまい子とそうでない子の差が出てしまうことがあったので、「シュートを狙うのは良いことだけど、次はパスをねらってみよう」とアドバイスしてあげたら、周りの子どもたちもたくさんボールに触れるようになったので良かったです。3年間のキッズフェスティバルを通して、指導する楽しさと大変さを学ぶことができました。また、子どもたちの喜んだ

顔を見ると、とてもうれしかったです。私は、今年で翔南高校として関わるのは最後ですが、機会があればまた参加したいと思います。後輩たちにはこのとても貴重な翔南高校の取り組みを引き継いで、よりよい活動にしていってほしいです。

3年選手 田中洸太郎（たなかこうたろう）（部長）

キッズフェスティバルは、毎年子どもたちが元気にサッカーを楽しんでいる姿を、近くで見ることができ、1年の楽しみになっていました。毎年、始まる前は、私自身緊張してしまい、子どもたちにきちんと接することができるか心配になっていましたが、子どもたちは毎回笑顔で、楽しそうにサッカーをしてくれるため、逆にこちらが楽しい気持ちになり、また教えたいと思うことができました。

教えている中で、最初から完璧にできる子は当然少なく、ほとんどの子が始めはできなかつたり、動きがぎこちなかつたりしていましたが、そのような子の多くが、「うまくなりたい」という一心で、何度も繰り返しチャレンジし、数を重ねる毎に上達していく姿に、私自身学ばなければと思いました。教えることで逆にこちらが気付いたこともあり、学びの多い、楽しい時間になりました。小さい子にサッカーを教えられる、貴重な機会を設けてくれたことに感謝しています。これからも機会があればまた参加したいと思います。

3年選手 阿部良勇（あべりょうゆう）

参加する子どもたちが楽しめることを目標に活動しました。当日は、けんかやけがをする子どもがいなかったのよかったです。フェスティバルが終わった後、サッカーをまだやりたそうな子どももいました。子どもの様子を見ると、ボールを使う練習などは活発にやっていましたが、ボールを使わない練習はそうでない子どももいたので、一緒にやってあげたり、子どもへの声かけの工夫の必要性を感じました。ミニゲームの時にボールにあまり触れることができない子どもがいましたが、コーチがグラウンドの中に入り、意図的にパスを出してあげるなど、たくさんボールに触れるように工夫したことで改善することができました。3年間のキッズフェスティバルで、子どもたちに教えることで、サッカーの楽しさを再認識し、自分自身成長できたと思います。この経験をこれからに生かしていきたいと思います。

3年選手 小野寺楓（おのでらかえで）

3回目のキッズサッカーフェスティバルでした。3回目だけど上手く子どもたちになじめるか不安でした。1回目の講習会では、これまで通りキッズサッカーの基礎知識・技能について学び、2回目の落とし込みの事前講習会では、自分たちでどう行動すれば子どもたちが楽しめるか、考えながら取り組みました。当日は、3人1組でチームをまとめて楽しく取り組めたとと思います。ボールが顔に当たり泣いてしまった子がいたけど、みんなで励ますことですぐ泣き止み、また楽しそうにサッカーしていたのよかったなと思いました。キッズフェスティバルを通して、子どもとの上手な接し方や楽しませる方法が少しながら分かったし、子どもと接する楽しさを知ることができました。このような経験を翔南高ですることができてよかったと思うし、今後の進路や生活に生かしていきたいと思います。よい伝統であるキッズフェスティバルをこれからも続けていき、サッカーやスポーツをする子を増やして優秀な人材を育てていってほしいと思います。3年間ありがとうございました。

3年マネージャー 廣沼樺衣莉（ひろぬまかいら）

サッカーが好きな子どもたちに、もっとサッカーを好きになってもらえるように、サッカーの楽しさや魅力を伝えたいと思い、取り組みました。当日は、自分から子どもたちに積極的に話しかけ、たくさんコミュニケーションをとることができました。また、気温が高く、子どもの熱中症が心配でした。暑さ対策のため、サッカーをしている時や休憩している時に水を霧吹きでかけるなど、体調面への配慮を心がけました。このフェスティバルを通して、人とのコミュニケーションのとり方などを学びました。学んだことをこれからの進路にも生かしていきたいと思います。とても良かったです。

3年マネージャー 佐々木朱萌（ささきあやめ）

キッズフェスティバルの参加にあたって、進行をスムーズに進めることと、子どもたちに適切な対応をすることを目標に活動しました。受付時に、チームの振分けでミスをしてしまい、混乱してしまったけど、時間通りに進めることができました。また、けがをした子や体調を崩した子に対して、最後まで対応することができたと思います。熱中症の予防やけがの予防・対処など、子どもの安全・安心を第一に考えた取り組みが大切だと改めて思いました。次年度は、今回の経験と課題を生かして、参加してくれる子どもたちに、より安全に楽しんでもらえるように、そしてサッカーの楽しさを広められるように頑張っていきたいです。

2年選手 龍揖啓人（たつひひろと）

キッズサッカーフェスティバルを通して、参加前は昨年と同様に行えばよいと、楽しみにしていた気持ちと、部員数が増えて、うまく運営していけるか不安な気持ちがありました。しかし、参加している最中は、時間を忘れてしまうほど楽しくサッカーをすることができました。指導をする点で心がけたことは、チャレンジしたプレーをほめることでした。例えば、積極的なプレーでミスをしてしまった場合、ミスをしたことを注意するのではなく、チャレンジしたことをほめるように心がけました。また、2年生の子どもが誤ってファウルをしてしまった時、そのプレーに対して、すぐに注意や怒ることをせず、「気を付けて、無理はだめだよ」や「がんばろう」と子どもの気持ちを考えた声がけを意識しました。このキッズサッカーフェスティバルで、改めてサッカーの楽しさを確認することができました。来年は、今まで頼っていた3年生に代わり、新しいチームでの取り組みになります。この良い伝統をつなぐだけでなく、さらに発展させて、次の代に引き継いでいきたいと思いました。来年度もたくさんの子どもたちが参加してくれるとうれしいです。

1年選手 佐藤翔（さとうしょう）

私は、キッズフェスティバルに参加する前は、子どもたちと仲良く接することができるか、子どもたちを楽しませることができるか不安でした。受付時に子どもの名前を聞くと、小さい声で自分の名前を言っていました。多分、子どもたちの中にも緊張して、フェスティバルに参加した子もいたと思います。子どもたちが緊張して、私も緊張してはダメだと思い、できるだけ明るく笑顔で接するように心がけました。トレーニングが始まり、最初の10分あたりは、控えめな子どもたちでしたが、馴れ始めると自分から活発に行動していました。子どもたちから積極的に接してくるので、すぐに仲良くすることができました。子どもたちも楽しくサッカーができたと思うので、私の不安だったことがうまくいって良かったです。最後には、翔南サッカー部とフェスティバルに参加しにきてくれた子どもたちとハイタッチをして終え、子どもたちの笑顔を見ることができたので、私自身参加してよかったと思いました。今年は成功で終わりましたが、良い点だけでなく、改善点も見つかったので、来年に生かしていきたいです。

●県協会スタッフのコメント

北上翔南フェスティバルに参加いただきありがとうございます。

今年の北上翔南フェスティバルは、朝方は涼しかったものの、時間が経つにつれ気温が上がりました。そのため、もっと高校生のお兄さん達とサッカーしたかった子もたくさんいたのですが、子供たちの健康を一番に考えプログラムの途中で終了としました。未来ある子供たちのためご理解ください。

さて、フェスティバルはというと今年も北上翔南高校生が頑張りました！今回は1年生・2年生がそれぞれのエリアでコートを巡るグラスルーツ形式。子供たちが迷わず楽しく行えるよう自分たちでアイディアを出したり、ハプニングにも柔軟に対応していました。また、大休憩の時には中央のテント付近で霧吹きの掛け合いをして一緒に楽しむ姿や、フィールド外の照明の影を利用し子供たちを休ませ一緒に過ごしている姿も見られました。具合の悪くした子供にはチーム担当者と女子マネージャーが体を冷やしたり、やさしい声をかけたりと最後までしっかり対応していました。高校生自身が子供たちファーストで行動していたことがフェスティバルの成功につながりました。

最後にフェスティバル開催にあたりご尽力くださいました北上地区担当の小野さん、北上翔南高校先生方、サッカー部の皆さんありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

キッズ委員会 フェスティバル担当 佐藤洋充

（編集：蝦名浩明）